

### 第3 問題作成部会の見解

#### 1 問題作成の方針

問題作成は、高等学校段階における基礎的な学習の達成程度を判定することを主たる目的となされており、この点は従来と変わらない。

公民科の目標は、「広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う」ことであり、「政治・経済」では、社会を成立させる原理や制度、日本を取り巻く国際情勢を正しく理解し考察する力を身に付け、社会の有為な形成者として必要な資質を養成することが目的とされている。問題作成部会としては出題に当たり、これらに併せて、「情報を主体的に活用する学習活動を重視する」という高等学校学習指導要領（以下「学習指導要領」という。）の姿勢をも踏まえて、現代の時事的現象に関する問題や、基本知識を踏まえた論理問題も加えた。いわゆる知識の習得度のみを問うことに偏るのを避け、できる限り総合的な理解力、論理的な思考力、それらに基づく応用力を試す、いわゆる考えさせる問題も加えてバランスの取れた出題を目指した。今年度は昨年度同様、高等学校で習得すべき基本知識を身に付けているか、それらとリード文の趣旨とを踏まえて表やグラフを読み解けるか、高等学校で習得した基本知識を発展させて解を導くことができるかといった点に配慮した。また、リード文の作成に当たっては、政治や経済の諸問題に対する意識や関心を喚起するものとなるようにし、第1問に、資料を読み取り、その上で文章を完成させる総合的な学力を問う問題、第4問にプライマリー・バランスの本質的な理解を問う問題を配置するなどの工夫を行った。

形式的には、大問4問、小問計34問と、昨年度までと比べて出題数を減らした。難易度については、問題間の均衡を考慮して設定した。

#### 2 各問題の出題意図と解答結果

第1問 リード文は、EUの動向や日本の地方分権の進展などの具体的な事例を示しつつ、近代主権国家原理の対外的・対内的な変容について論じたものである。小問では、リード文の主題に関連して、主権国家原理を提唱した思想家に関する問題のほか、地域経済統合や国際経済の動向、日本の地方分権・地方自治に関する問題を作成した。また、主権国家原理の変容に伴って国家の意思決定機構も変化していることを受けて、選挙制度や民主的な意思決定に関する問題を作成した。

問1 近代国家を理解する最も重要な概念である「主権」について、その提唱者を問う問題である。

問2 1990年代に発足した主要な地域経済統合について、基本的知識と今日におけるその規模に関する洞察力を問う問題である。

問3 金融政策や中央銀行の役割に関する基本的な知識を問う問題である。

問4 国際収支の基本的な知識をもとに、国際経済の動向について問う問題である。

問5 国家と国民とのさまざまな関係に着目して、個別の基本的人権を分類させる問題である。

問6 日本の選挙制度について、さまざまな基本的知識を問う問題である。

問7 日本における民主的な意思決定の方法について、基本的知識を問う問題である。

問8 日本の地方自治制度について、基本的知識を問う問題である。

問9 1980年代と2000年代における構造的経済改革について、基本的知識を問う問題である。

問10 地域経済や農村の再生を目指すさまざまな活動について、基本的知識を問う問題である。

第2問 公害問題の原因と対策の手法について政治・経済両面から議論する、会話文を題材とした出題である。小問では、公害・環境問題を中心としつつも、公害問題の裾野の広さを考慮し、政治・経済両分野から幅広い事項に関する基礎的な知識、理解を問うことを意図した。

問1 利潤に関する知識を基に、利潤に関連する企業行動について問うた問題である。

問2 市場で取引されるものとGDPに計上されるものとの関係を問うた問題である。

問3 いわゆる「公害国会」における衆議院の議席配置について出題することで、どのような背景で公害対策立法が推進されたかについての理解を問うた問題である。

問4 行政委員会について、役割、組織編制、実際に設置されているものの特徴について問うた問題である。

問5 国際的な環境保全の取組や日本における公害の防止に関する諸施策についての理解を問うた問題である。

問6 地方自治体における住民、首長及び議会について、お互いに行使可能な権限の可否について問うた問題である。

問7 市場の失敗とそれへの対策である法との関連について問う問題である。

問8 再生可能エネルギーについて、定義、日本における導入状況について問うた問題である。

第3問 この大問は、変化する国際社会における、多数派と少数派による対立がアイデンティティ・ポリティクスをめぐるものへと変わりつつあることに触れた上で、民族紛争、難民、人の移動に伴う人権侵害とそれらへの対応について問うものである。

問1 少数派と多数派とが平和裏に共存するアプローチの一つである多文化主義及び民族自決の考え方についての基礎知識を問うものである。

問2 国際社会における協調の重要性について、表の読み取りを通じて考えさせることを意図した問題。

問3 主要な民族紛争のいくつかの事例について、基礎知識を問うものである。

問4 民族紛争で発生しがちな難民について、難民条約による保護制度に関する基礎知識を問うものである。

問5 低い労働条件で働いている労働者についての基本知識を問うものである。

問6 国際的に人権保障を追求するための国際的文書についての基本知識を問うものである。

問7 国際問題に対応する国際NGOについての基礎知識を問うものである。

問8 市民社会におけるメディアに関連して、情報があふれる社会において市民に求められる態度についての基本知識を問うものである。

第4問 公的な財・サービスの供給においては、昨今、市場メカニズムの活用が盛んに試みられるとともに、新たな担い手としてのNPOなどいわゆるサード・セクターへの関心も高まっている。このことを踏まえ、公的な財・サービスのより適切な供給主体の探索の必要性についての認識を促すとともに、市場メカニズムの機能や税・社会保障、あるいは、公共財の性質などについての基本的な知識、及びNPO活動や地方財政に関する深い思考力を問う。

問1 代表的な経済主体としての家計と企業の行動についての基本的な理解を問う。

問2 市場メカニズムが理解できているか、特に需要供給曲線の図の読み方が理解できているかを問う。

- 問3 社会保障の発展に関する世界的な流れについての基本的な理解を問う。
- 問4 公共財の性格が正しく理解できているかを問う。
- 問5 租税における公平性の概念を正しく理解できているかを問う。
- 問6 NPO 法人と NPO 法に関する基本的知識を問う。
- 問7 基礎的財政収支の概念を応用して、赤字軽減の具体的政策を思考させる。
- 問8 日本の地方財政に関する知識を応用して、市町村の性質別歳出の推移の理解をグラフから読み取らせる。

### 3 出題に対する反響・意見についての見解

第1問 「リード文は、伝統的な主権国家の枠組みが揺らぎつつある状況」や「国内での地方分権化の動きにも言及し、受験者に国家の役割についての関心と考察を促す内容で興味深い」との評価を受けた。設問については、「難易度は標準である」との評価を受けた。

問1 主権の概念の提唱者を問うやや平易な問題であるという評価であった。

問2 地域統合に関するやや平易な問題であるとの評価であった。人口やGDPを用いずに、加盟国数だけで判断した受験者もいたのではないかとの指摘や、全体として暗記に頼る問題ではないかとの指摘があり、今後このような点に更に留意する必要がある。

問3 「金融政策」の「基本的な知識を問う」問題であり、「目的に応じた政策例の適否を判断する思考力が求められており、良問である」と評価された。

問4 財政危機に関する「標準的な問題」であり、受験者が「資料を活用して問題文の空所を完結させる」「過程で学びを深めることができる良問である」との評価を受けた。

問5 「やや平易」との評価もある一方で、「基本的人権についての理解を分類作業を通して確認する思考力の問い」であるとの評価もあった。

問6 日本の選挙制度に関する「基礎的基本的な知識」を問う「標準的な問題」であるとの評価を受けた。

問7 日本国憲法が定める民主的な意思決定の方法に関する「やや難しい問題」であり、「表決に関する細かな知識が問われている」との指摘を受けた。

問8 地方自治についての「基礎的基本的な知識」を問う「標準的な問題」であるとの評価を受けた。

問9 1980年代と2000年代の改革に関するやや難しい問題との評価であった。とくに1980年代の問題は、高校生にとっては易しくないのではという指摘があった。

問10 地域経済の発展などに関するやや平易な問題との評価を受けた。こうした時事的な問題についても、今後も扱っていきたい。他方で、読解力により解答可能との指摘も受けた。

第2問 環境問題をテーマにした政治分野と経済分野の融合問題で、リード文は親しみやすい内容でありキャリア教育の視点からも意味あるものだが、模擬授業という設定をより生かした見識も期待したいとの評価を受けた。

問1 企業の利潤に関する知識を問う標準的な問題であるとの評価を受けた。

問2 GDPに関する細かな知識が求められており、受験者にとっては選択がやや難しい問題であるとの評価を受けた。

問3 戦後の政党政治の大きな流れを各時代を象徴する出来事とともに把握させようとするねらいや、受験者に考えさせる工夫が評価できるとの評価を受けた。

問4 日本の行政委員会に関する基礎的な知識を問う問題であるが、一部の選択肢がやや細かいとの評価を受けた。

- 問5 国際的な環境保全の取組等に関するやや平易な問題であるとの評価を受けた。
- 問6 標準的な問題である、地方自治ならではの特徴を問う工夫が見られるとの評価を受けた。
- 問7 難易度は平易であるが、基礎的な知識を活用して判断する思考力が求められており良問であるとの評価を受けた。
- 問8 時事的な社会問題への関心を促す意図は評価できるが、細かな知識よりも思考力や資料読解力を問う出題が望まれるとの指摘を受けた点は今後の検討課題としたい。

第3問 問題の難易度はやや平易だが、リード文はメッセージ性があり、示唆に富むもので、高校生にとっては学習の指針ともなる秀逸な文章だとの評価を受けた。

- 問1 やや平易だが、リード文を読ませ、描きたい世界を思考し、完成させる出題形式は好ましいとの評価を受けた。
- 問2 やや平易な問題だが、リード文との関連が高く、読解力・思考力・判断力が問われる良問との評価であったが、他方でやや定型化しているとの指摘も受けたので、出題形式の工夫についても今後検討したい。
- 問3 基礎知識を問う標準的な問題との評価を受けた。他方で、地図を用いておおよその位置も確認できるようにするなどの工夫の必要性も指摘された。教科書でも地図が多用されており、思考力と判断力をより使わせるためにも今後検討していきたい。
- 問4 基礎的知識を問う標準的な問題との評価を受けた。難民条約全体への配慮があり、思考力を要する出題と評価された。
- 問5 今日の日本が抱える労働問題についての基本的な問題との評価を受けた。ワーキングプアをはじめ、出題内容が重要な時事的事象であると評価された。
- 問6 人権の国際的な保障についての基礎的な問題との評価を受けた。子どもの権利条約についての出題では、児童の定義を問うものとなっており違和感があるとの指摘を受けたので、今後の出題の際に考慮したい。
- 問7 基礎的知識を問う平易な問題との評価を受けた。思考力を測るための工夫についても今後検討していきたい。
- 問8 ミニリード文を用いた読解力と思考力を問う出題だった。難易度はやや平易な問題との評価を受けた。「メディア・スクラム」を出題した意図は理解できるが、教科書記述が少なく、「政治・経済」としての出題の適否については意見が分かれるという指摘を受けた。

第4問 市場機構と財政をテーマにした経済分野の問題であり、知識や思考力、資料読解力を問う標準的な難易度の問題であると評価を受けた。

- 問1 家計と企業についての標準的な問題であるとの評価であった。
- 問2 需要供給曲線についての平易な問題であるとの評価であった。
- 問3 社会保障の発展についてのやや平易な問題であるとの評価であった。
- 問4 公共財の性質についての思考力を要するやや難しい問題であるとの評価であった。
- 問5 租税の垂直的公平性についての思考力を要するやや平易な問題であるとの評価であった。
- 問6 NPOについて知識としてはやや細かいが、高校生活においてボランティア活動に参加していれば経験に照らして考えると平易な問題であるとの評価であった。
- 問7 プライマリー・バランスについての知識を活用して思考力を問う良問であるとの評価であった。
- 問8 日本の地方財政について基本的な知識を活用してグラフを読み解く、思考力を問う良問

であるとの評価であった。

#### 4 今後の問題作成に当たっての留意点

本年度の問題についての我々の基本的な見解は前述のとおりであるが、各方面からの意見・評価を真摯に受け止めた上で、以下の諸点に留意して、今後の作問に取り組みたい。

- (1) 学習指導要領準拠の原則を誠実に遵守する。また、学習指導要領の改訂にも注意を払う。
- (2) 公民教育への社会的要請に配慮し、大学入試センター試験の社会的な責任や影響力を考慮し、公民教育の一環として現行の質を維持しつつ、更に改善し向上させる。
- (3) 新教育課程への移行を踏まえ、総合的な理解力・論理的思考力・資料の読み取り力などを試す問題について更に検討・改善を行う。
- (4) 公民科内の科目間不公平が生じないように、適切な難易度の問題になるよう心掛ける。また、「政治・経済」内においても、政治分野と経済分野との間の難易度のバランスにも配慮する。
- (5) 問題数・形式についても、リード文の効果的な位置付けや設問との関連性、問題の質の向上に伴う妥当な問題数、時事問題の適切な出題範囲、選択肢の適切な表現など、更に検討・改善を行う。